

戦略2 えべつの将来を創る産業活性化

計画期間 平成26年度～平成30年度

主管部局 経済部 関係部局 総務部、健康福祉部

めざす姿

- 農業・商業・工業等の連携により産業が活性化し、まちの活力が高まります。
- 市内での就労人口や交流人口が増加し、市内がにぎわいと活気に満ちています。

戦略を構成するプロジェクト事業費の推移

名 称	実績						予算額			
	H26年度		H27年度		H28年度		H29年度		H30年度	
2 A 産業間連携等による産業の活性化	28,006	千円	25,678	千円	25,231	千円	29,151	千円	24,476	千円
2 B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開	10,811	千円	34,617	千円	63,922	千円	96,434	千円	92,804	千円
2 C 雇用の創出と人材育成の支援	4,110 (28,552)	千円	49,910 (702,592)	千円	47,443 (234,801)	千円	46,176 (249,189)	千円	43,620 (323,903)	千円
2 D 地域資源の活用による観光の振興	4,559	千円	4,902	千円	15,744	千円	32,114	千円	34,227	千円
計	47,486 (28,552)	千円	115,107 (702,592)	千円	152,340 (234,801)	千円	203,875 (249,189)	千円	195,127 (323,903)	千円

※（ ）は他戦略との重複分

※H29年度以前の額は完了した戦略事業も含む

戦略プロジェクト2 A 産業間連携等による産業の活性化

【プロジェクトの目標】

それぞれの産業や企業単独ではなく、江別市の特徴的な取組である産学官連携・農商工連携を強化し、多様な主体が連携して地域に根差した産業集積をはかるとともに、大学・研究機関に恵まれた江別市ならではの知的資源や学生の力を活かした産業の活性化をめざします。

◆成果指標2 A-1 (産学官・産業間連携の) プロジェクトによる新アイテム開発取組数(累計) (単位: 件)

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目 標
0	2	3	4			5

<30年度の方針>

戦略プロジェクト2 A「産業間連携等による産業の活性化」は、引き続き、産学官・農商工連携の強化を図っていくほか、地域に根差した商店街やコミュニティづくり、大学・研究機関を活かした産業の活性化を目指しており、以下のとおり事業を進めていく。

◆推進プログラム①「市内企業等が主体となったネットワーク構築の支援」では、経済活動広報事業により市内の産業や企業活動を市民に広く周知するとともに、商工業活性化事業と江別経済ネットワーク事業を継続し、新製品開発・新ビジネス創出の支援と産学官及び産業間相互の連携強化を図る。

◆推進プログラム②「マーケティングの視点に基づいた産業振興」では、「食を軸とした地場産品販路拡大支援事業」を中心に、専門家による企業の試作製品相談会の開催やテストマーケティング販売の機会の提供等により、商品の高付加価値化や販路拡大のノウハウを持つ事業者の育成を進めていく。

◆推進プログラム③「地域に根差した商店街の魅力づくりの支援」では、地域課題の解決を目的としたコーディネーターを配置し、野幌駅周辺地区及び野幌商店街活性化の促進を図るほか、多様な主体の参入によるコミュニティーの場として、商店街の更なる活性化を図る。

◆推進プログラム④「大学・研究機関との共同研究の推進」では、食の臨床試験に関する支援を行うことにより、市内中小企業等における機能性食品の開発促進を図る。

◇推進プログラム2A-① 市内企業等が主体となったネットワーク構築の支援

<課題>

- 市内にある大学・研究機関のほか、多様な事業者の有利性を活かす

<取組の概要>

- ・市内の産業を企業などへPRすることによる相互連携のきっかけ作り
- ・研修・研究活動や地域イベントの開催等の支援により産業を活性化
- ・異業種間による連携を強め、新製品開発に向けたプロジェクトを立ち上げるとともに、情報提供や研究成果発表の機会を増加

事務事業	指 標	H28年度	H29年度(予算)	H30年度(予算)	備 考
経済活動広報事業	広報した産業・企業数	9 件	12 件	6 件	
	事業費	900 千円	4,230 千円	3,348 千円	
商工業活性化事業	補助金の活用件数	15 件	21 件	15 件	
	事業費	4,469 千円	4,660 千円	3,930 千円	
江別経済ネットワーク事業	例会参加者数	168 人	150 人	150 人	
	事業費	368 千円	223 千円	111 千円	

◇推進プログラム2A-② マーケティングの視点に基づいた産業振興

<課題>

- 商品の高付加価値化や販路拡大のノウハウを持つ事業者の育成

<取組の概要>

- ・商談会等による販路拡大のほか、マーケティングテスト販売の実施や専門家による相談会の開催など一体的な支援
- ・成果発表の機会と協賛企業の掘り起し
- ・製品試作企業を掘り起し、商品化コーディネート、マーケティング調査

事務事業	指 標	H28年度	H29年度(予算)	H30年度(予算)	備 考
食を軸とした観光誘客・地域産品販路拡大支援事業	商談会・催事出展企業数	34 社	30 社	34 社	
	事業費	448 千円	553 千円	586 千円	
商工業活性化事業【重複】2A-①	補助金の活用件数	15 件	21 件	15 件	
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円	
江別経済ネットワーク事業【重複】2A-①	例会参加者数	168 人	150 人	150 人	
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円	
総合特区推進事業【重複】2A-④	食関連企業の新増設数	2 社	1 社	2 社	
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円	

◇推進プログラム2A-③ 地域に根差した商店街の魅力づくりの支援

<課題>

- 地域の特性を活かした商店街の魅力づくり
- 高齢者や学生、地域住民など多様な主体や様々な世代の交流による商店街の活性化

<取組の概要>

- ・学生や高齢者など多様なコミュニティ活動主体参加の促進（商店街への参加促進のため、各種支援制度や成功事例を紹介するセミナーの開催、希望者への相談・支援の実施）
- ・魅力あるテナントの誘致など商店街活性化に向けた取組を支援（商店街の要請により出店したテナントの出店経費に対する補助、地域課題解決のためのコーディネーター配置）
- ・商店街の活性化を目的としたイベント等への支援

事務事業	指 標	H28年度	H29年度(予算)	H30年度(予算)	備 考
野幌駅周辺地区商店街活性化促進事業	相談件数	119 件	70 件	70 件	
	誘致件数	1 件	1 件	0 件	
	事業費	7,207 千円	6,454 千円	2,454 千円	
商店街参加促進事業	セミナー参加者数	57 人	50 人	50 人	
	参加相談件数	0 件	2 件	2 件	
	事業費	293 千円	500 千円	300 千円	
商工業活性化事業【重複】2A-①	補助金の活用件数	15 件	21 件	15 件	
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円	

◇推進プログラム2A-④ 大学・研究機関との共同研究の推進

<課題>

- ネットワークの活力向上
- 連携強化の仕組みづくり

<取組の概要>

- ・連携強化と自立的な運営に向けた仕組みづくり
- ・食の臨床試験に関する支援
- ・既存補助金の利活用による産学連携の取組支援
- ・ネットワークの自立的運営に向けた支援

事務事業	指 標	H28年度	H29年度(予算)	H30年度(予算)	備 考
総合特区推進事業	食関連企業の新増設数	2社	1社	2社	
	事業費	11,546千円	12,531千円	13,747千円	

戦略プロジェクト2B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開

【プロジェクトの目標】

江別市の基幹産業の一つである農業が、第2次産業・第3次産業と連携して実施する江別産農畜産物の高付加価値化の取組や立地環境を活かした食関連産業の集積を図るとともに、江別産の「食」について市内・道内はもとより道外・海外といった広域的な市場ニーズに合わせた販路拡大への取組などを支援します。

◆成果指標2B-1 えべつ産の農産物加工品認定数(累計)(単位:件)

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目 標
0	5	7	9			22

<30年度の方針>

戦略プロジェクト2B「農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開」は、江別産農畜産物の高付加価値化やブランド化への取組を充実させるほか、条例に基づく補助の活用による食関連企業等の立地促進や、江別産の「食」について市外・道外への広域的な展開に対する取組を支援しようとするものであり、以下のとおり事業を進めていく。

◆推進プログラム①「食」の付加価値を高める産業の集積」では、市ホームページ内の「企業PRガイド」などを活用し、市内企業についての情報発信を行い、市内に立地する企業の連携を通して事業拡大につなげる。また、「江別市企業立地等の促進に関する条例」に基づく補助制度やRTNパークのPR活動に力を入れ、引き続き食関連産業等の誘致を推進する。

◆推進プログラム②「付加価値の高い新製品開発、販路拡大等の支援」では、生産者に対し、ブランド化小麦製品の維持・拡大に必要な小麦品種を一定程度確保するための支援や、ブランド牛の安定供給を図るための支援を行う。また、江別産農畜産物を活用した加工新商品開発等に対する支援や、地域おこし協力隊(6次産業化支援員)による都市と農村の交流センターを活用した商品開発等の支援を行う。

◇推進プログラム2B-① 「食」の付加価値を高める産業の集積

<課題>

- 企業立地を推進するための江別市の魅力付け
- 企業間連携を図るための企業情報の収集・PR

<取組の概要>

- ・企業ガイド等の作成、更新などによる市内企業のPRと企業間連携の促進(工業団地協同組合等との連携)
- ・フード特区制度や企業立地にかかる補助制度の運用による食関連企業等の立地促進(H26 江別市企業立地等の促進に関する条例施行)

事務事業	指 標	H28年度	H29年度(予算)	H30年度(予算)	備 考
企業誘致推進事業	立地企業・事業所数	2社	4社	4社	
	事業費	1,479千円	1,516千円	1,982千円	
企業立地等補助金	補助金認定件数(累計)	27件	30件	32件	
	事業費	55,846千円	88,572千円	83,814千円	

◇推進プログラム2B-② 付加価値の高い新製品開発、販路拡大等の支援

<課題>

- 市内企業の体力や海外戦略の段階に応じた、海外展開支援
- ブランド品を維持・拡大するための支援
- 市内外への継続的なPR
- 加工品開発のノウハウ等支援
- 農畜産物の高付加価値化
- 販路拡大等の支援
- 需要を伸ばすための支援
- 6次産業化・グリーンツーリズムの推進

<取組の概要>

- ・加工品製造者等による研修会及び市民向け加工品フェアの開催支援
- ・地域のブランド品表示等の支援及びPR
- ・商談会への出展等の支援
- ・消費者と生産者の相互理解の場の開催を支援
- ・指導機関等のセミナー情報等の提供
- ・広報等メディアの活用や市民農場見学会等の開催を支援
- ・江別産農畜産物（小麦・ブロッコリーなど）を活用した商品化の支援
- ・消費者向けイベント等の開催を支援
- ・都市と農村の交流センターを活用した商品開発等の支援
- ・意欲のある市内企業に対する関係機関と連携した低リスクによる海外販路開拓支援
- ・輸出補助金

事務事業	指 標	H28年度	H29年度(予算)	H30年度(予算)	備 考
都市と農村交流事業	グリーンツーリズム関連施設の利用者数	526,212人	529,000人	529,000人	
	イベント参加者の満足度	100%	80%	80%	
		事業費	1,647千円	1,800千円	
6次産業化支援事業	テストキッチン利用者数	—	1,100人	1,100人	H29年度から指標変更
	交流センター利用者数	—	16,100人	16,100人	
		事業費	2,371千円	2,929千円	
江別産農畜産物ブランディング事業	特産品の認知個数	2品目	2品目	2品目	
	事業費	2,579千円	1,617千円	2,879千円	
総合特区推進事業【重複】2A-④	食関連企業の新増設数	2社	1社	2社	
	事業費	—千円	—千円	—千円	

戦略プロジェクト2C 雇用の創出と人材育成の支援

【プロジェクトの目標】

「働きたいまち・えべつ」・「企業が立地したいまち・えべつ」をめざして、企業にとって魅力的な立地環境を整備するなど、企業立地の促進による雇用創出と、企業が必要とする労働力を確保するための就労支援・人材育成に一体的に取り組めます。

◆成果指標2C-1 市内企業へ就職した市内の新卒者数（高校・大学）（累計 単位：人）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目 標
45	55	111	174			250

<30年度の方針>

戦略プロジェクト2C「雇用の創出と人材育成の支援」は、企業立地による雇用の創出や大学生等の就職支援のほか、就職相談や情報提供等による就労支援や、福祉分野での人材育成にも取り組もうとするものであり、以下のとおり事業を進めていく。

◆推進プログラム①「企業誘致のための条件整備」では、「江別市企業立地等の促進に関する条例」に基づく補助制度やRTNパークのPR活動に力を入れ、引き続き食関連産業等の誘致を推進する。

◆推進プログラム②「潜在労働力の掘り起こし」では、働きたい女性のための就職支援事業により、潜在労働力の掘り起こしを進める。このなかで、座学研修と職場実習を組み合わせた取組により企業が必要な労働力の確保を図る。また、障がい者の就業に関する相談や定着支援を行うほか、障がい者就業に係る企業の相談や支援も行うことにより、障がい者の雇用の場の確保を図る。

◆推進プログラム③「産業の担い手の確保、人材育成の支援」では、市内大学の学生を対象とした有給インターシップ等就職支援事業、市内高校の生徒を対象とした高校生就職支援事業などの実施により人材育成を支援するとともに、市内企業への就職意識を高め、地元への就職を促進し、産業の担い手の確保を図る。

◇推進プログラム2C-① 企業誘致のための条件整備

<課題>

- 新たな補助制度の周知
- 工業用地の確保
- 年度途中からでも待機することなく保育園に入園できる体制の整備
- 多様な保育（子育て支援）ニーズへの対応

<取組の概要>

- ・企業立地の補助制度のPRによる企業立地の促進
- ・企業誘致のための新たな工業用地の確保
- ・待機児童解消の推進（民間事業者への支援を行い、保育の提供体制を拡大、企業主導型保育開設促進のためのPR活動実施等）

事務事業	指 標	H28年度	H29年度(予算)	H30年度(予算)	備 考
待機児童解消対策事業 【重複】3A-①	入所できた児童数	77人	159人	168人	
	事業費	(156,909)千円	(249,189)千円	(323,903)千円	
企業立地等補助金 【重複】2B-①	補助金認定件数(累計)	27件	30件	32件	
	事業費	—千円	—千円	—千円	

◇推進プログラム2C-② 潜在労働力の掘り起こし(就労支援)

<課題>

- 市内企業の求人に対する十分な労働力の確保
- 子育て等をしながら働きたい女性の課題解消
- 障がい者の就労確保、就業に関する課題解消

<取組の概要>

- ・女性の就職に向けた支援の推進（関係機関との連携による各種セミナー、職場研修を含む就職支援等）
- ・待機児童解消の推進（民間事業者への支援を行い、保育の提供体制を拡大、企業主導型保育開設促進のためのPR活動実施等）
- ・障がい者の就業支援

事務事業	指 標	H28年度	H29年度(予算)	H30年度(予算)	備 考
働きたい女性のための就職支援事業	就職支援セミナー来場者数	117人	100人	96人	
	就職者数	49人	50人	50人	
	事業費	21,813千円	21,048千円	18,574千円	
障害者就労相談支援事業	年間延べ相談件数	988人	720人	876人	
	一般就労件数	8人	10人	10人	
	事業費	9,088千円	9,159千円	9,159千円	
待機児童解消対策事業 【重複】3A-①	入所できた児童数	77人	159人	168人	
	事業費	—千円	—千円	—千円	

◇推進プログラム2C-③ 産業の担い手の確保、人材育成の支援

<課題>

- 市内大学・高校等から市内企業へ就職する者の増加
- 市や市内企業等で活躍する人材の増加
- 大学生を市内での就業につなげる実践的な仕組の整備

<取組の概要>

- ・有給インターンシップや企業合同説明会等の実施により、市内企業と市内の大学・高校等との連携強化
- ・インターンシップ（就業体験）や面接指導等による市内高校生の就職支援
- ・大学生の人材育成を目的とする市役所での長期インターンシップ（実学教育）の実施
- ・インターンシップの効果検証と商工会議所、民間企業等への情報提供、啓発及び就職支援

事務事業	指 標	H28年度	H29年度(予算)	H30年度(予算)	備 考
有給インターンシップ等地域就職支援事業	有給インターンシップ参加学生数	45 人	45 人	55 人	
	事業費	11,251 千円	13,056 千円	13,093 千円	
高校生就職支援事業	就業体験に参加した生徒のうち、意義があったと思う生徒の割合	93 %	100 %	100 %	
	就職希望者に対する研修等に参加した生徒のうち、役に立ったと思う生徒の割合	86 %	100 %	100 %	
	事業費	2,500 千円	2,500 千円	2,402 千円	
市内大学等インターンシップ事業	将来、市や市内企業等で働きたいと思う学生の割合	87.5 %	100 %	100 %	
	インターンシップ参加に意義があったと思う学生の割合	100.0 %	100 %	100 %	
	事業費	93 千円	413 千円	392 千円	

戦略プロジェクト2D 地域資源の活用による観光の振興

【プロジェクトの目標】

石狩川や野幌森林公園などの豊かな自然、地場産品、公共施設や歴史的建造物など、既存の地域資源を再評価し、観光資源として有効活用するとともに、大都市である札幌市に隣接しているという地の利を最大限に活かした、江別市ならではの観光を推進します。

◆成果指標2D-1 主要観光施設の利用者数（単位：人）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目 標
126,000	147,407	181,600 (239,800)	174,638 (434,444)			132,600 (430,000)

*上段（H27、H28）は、未来戦略策定時の主要観光施設5施設の値
 下段（H27）は、未来戦略計画策定後に整備された主要観光施設を含めた計6施設の値（アースドリーム角山が加わる）
 下段（H28）は、未来戦略計画策定後に整備された主要観光施設を含めた計7施設の値（アースドリーム角山とEBR1が加わる）

<30年度の方針>

戦略プロジェクト2D「地域資源の活用による観光の振興」は、引き続き豊かな自然や地場産品れんがなどの歴史的建造物を観光資源として有効活用するとともに、江別の魅力をホームページや雑誌などの様々な手段でPRすることで、札幌に近いという地の利を活かし、江別ならではの観光を推進しようとするものであり、以下のとおり事業を進めていく。

◆推進プログラム①「地域資源の観光への有効活用」では、れんが・食・体験など多様な既存資源を観光プランに反映させ、街並みの魅力発見のための観光ルートを提供するほか、江別の魅力発信MAPの作成や、江別アンテナショップGET'Sを活用した観光・物産等のプロモーションを行い、観光誘客はもとより、イベント事業等のサポート、各種団体が行う事業のコーディネートを行う。

◆推進プログラム②「観光資源のパッケージ化」では、発掘した地域特性や魅力を観光プランに盛り込み、交通手段別、目的別に応じた観光ルートの提案を行っている。また、江別観光協会とのさらなる連携のもと、観光パンフレットの作成やインターネットの活用による観光PRを展開する。

◇推進プログラム2D-① 地域資源の観光への有効活用

<課題>

- 市外における「江別」の認知度の向上
- 大都市札幌に隣接している優位性を十分に活かす
- 市外への継続的なPR
- 江別の特産品や観光情報等の発信

<取組の概要>

- ・食と農、歴史あるれんがを観光の軸として策定した観光振興計画の実施
- ・ウォーキングやドライブコースなどの情報発信による江別の魅力をPR
- ・札幌圏を対象とした農業体験バスツアーの実施
- ・地域おこし協力隊を活用した地域資源を活かしたPR活動、イベント事業等のサポート、各種団体が行う事業のコーディネート

事務事業	指 標	H28年度	H29年度(予算)	H30年度(予算)	備 考
観光振興計画推進事業	観光入込客数	—	926,114人	1,046,102人	
	計画策定数	—	1計画	—計画	
		事業費	—千円	14,000千円	
地域発見魅力発信事業	主要観光施設観光入込客数 (未来戦略策定時5施設)	174,638人	180,000人	174,638人	
	主要観光施設観光入込客数 (H27:6施設 H28:7施設)	434,444人	430,000人	434,444人	
	事業費	4,877千円	6,524千円	6,978千円	
江別アンテナショップGET'S管理運営事業	アンテナショップ来店者数	42,250人	25,000人	42,250人	
	アンテナショップ来店者数 (市外)	16,296人	3,750人	16,296人	
	事業費	8,224千円	8,650千円	8,577千円	
都市と農村交流事業 【重複】2B-②	グリーンツーリズム関連施設 の利用者数	526,212人	529,000人	529,000人	
	イベント参加者の満足度	100%	80%	80%	
	事業費	—千円	—千円	—千円	

◇推進プログラム2D-② 観光資源のパッケージ化

<課題>

- 札幌近隣において主流の都市型観光の促進
- 個別の観光情報の提供

<取組の概要>

- ・発掘した地域特性や魅力を観光プランに盛り込み、交通手段別(車・自転車・徒歩・公共交通機関)、目的別(れんが・食・体験・健康等)に応じた多様な観光プランの提案
- ・観光パンフレットの作成・配付、ホームページ・SNSなどによる観光情報の提供

事務事業	指 標	H28年度	H29年度(予算)	H30年度(予算)	備 考
観光振興計画推進事業 【重複】2D-①	観光入込客数	—	926,114人	1,046,102人	H30年度事業名変更
	計画策定数	—	1計画	—計画	
		事業費	—千円	—千円	
江別観光協会補助金	観光協会事業件数	8件	8件	8件	
	事業費	2,643千円	2,940千円	2,672千円	
地域発見魅力発信事業 【重複】2D-①	主要観光施設観光入込客数 (未来戦略策定時5施設)	174,638人	180,000人	174,638人	
	主要観光施設観光入込客数 (H27:6施設 H28:7施設)	434,444人	430,000人	434,444人	
	事業費	—千円	—千円	—千円	